

SHARP®

バックアップ/リストア 取扱説明書

パソコンの準備をする	2
バックアップする	3
リストアする	5
使いやすいように設定を変更する	6

Zaurus

大切なデータは、必ずバックアップしてください。

バックアップ機能を使うと、本体メモリーに保存したデータや追加したソフトウェアなどがパソコンにバックアップされます(バックアップは手動で行います)。



- バックアップやリストアを行う前は、ザウルスのアプリケーションなどはすべて終了させておいてください。
- バックアップ/リストア中は、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。
- バックアップ/リストアを行うときは、ACアダプターを必ず接続してください。
- バックアップの前に、『取扱説明書』『基本的な使いかた』の「フォルダ名/ファイル名の付けかたについてのご注意」をご覧ください。バックアップできないファイルがないか確認してください。
- バックアップ/リストアを行うときは、「PCリンク」画面の接続方式で「PC連携方式」を選んでください。くわしくは「アプリケーションマニュアル.pdf」「設定」の「PCリンク」をご覧ください。



- 本体メモリーのデータは、動作確認済みの市販のSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードにもバックアップできます。SDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードは、電池なしでデータが記憶されます。カードへのバックアップについて、くわしくは「アプリケーションマニュアル.pdf」「設定」の「バックアップ/リストア」をご覧ください。
- この製品のバックアップ/リストアは、SL-A300には対応していません。

パソコンの準備をする

バックアップするには、バックアップ/リストアなどをパソコンにインストールする必要があります。

インストールされた方は、次のページをご覧ください。

まだインストールされていない方は、『はじめにお読みください』をご覧ください。インストールしてください。

これ以降、バックアップ/リストアなどをインストールしているものとして説明します。



- ソフトウェアをインストールしたときに「USB接続(ネットワーク)」を選択した場合は


『はじめにお読みください』をお読みになりソフトウェアをインストールしたときに、「USB接続(ネットワーク)」を選択した場合は、以下の操作を行ってください。

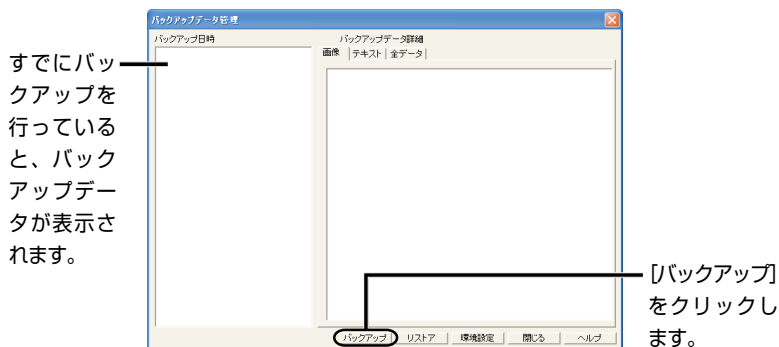
- ・ ザウルス側の操作として、PCリンク画面を表示し、通信方式を「USB接続(ネットワーク)」に変更してください(※『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「PCリンク」)。
- ・ パソコン側の操作として、ザウルス通信マネージャー(※『ザウルスドライブ取説.pdf』)を表示し、通信方式が「USB接続(ネットワーク)」になっていることを確認します。

なお、ソフトウェアをインストールしたときに「USB接続(シリアル通信)」を選択した場合は、通常、この操作は必要ありません。

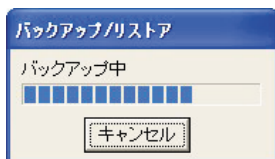
バックアップする


ザウルスの本体メモリーの内容をパソコンにバックアップしたいときに行ないます。

- 1 ザウルスの電源を切ります。
- 2 パソコンにザウルスを接続します。
接続の方法は『取扱説明書』「基本的な使いかた」の「パソコンと接続する」をご覧ください。
- 3 ザウルスの電源を入れ、しばらく(約10～15秒)待ちます。
- 4 パソコンのデスクトップ上の  (バックアップ/リストア)をダブルクリックします。
- 5 バックアップデータ管理画面で、[バックアップ]をクリックします。



しばらくして「バックアップ中」画面が表示され、ザウルスのデータがパソコンにバックアップされます。



- 6 バックアップが終了すると、この画面が消えます。
バックアップしたデータは、環境設定画面( 6ページ)で、「保存先ディレクトリ」に保存されます。
また、バックアップしたデータは、バックアップデータ管理画面に「(機種名)年月日時分秒」で表示されます(たとえばSL-C860の場合は、「(SL-C860)2004年11月30日15時35分1秒」)。

途中でバックアップをやめるには

[キャンセル]をクリックします。



- バックアップしたデータは、削除しないでください。リストア(☞次ページ)できなくなります。
- バックアップしたデータをリストア(☞次ページ)するとき、他の機種にはリストアできません。
たとえば、この製品のデータをバックアップして、そのデータをこの製品以外の機種にリストアすることはできません。
- ユーザーエリアの空きが約1.5MB (SL-C750の場合)または約2MB (SL-C860/SL-C760の場合)以下の状態では、バックアップできないことがあります。
バックアップできないときは、必要でないファイルなどを削除するなどして容量を空けてから行ってください。
- Movie Playerで動画を再生しているときは、バックアップ/リストアはできません。動画を停止してからバックアップ/リストアを行ってください。



- ザウルスにシークレットを設定しているときは、ザウルス通信マネージャーの暗証番号設定をすると自動的にザウルスのシークレットを解除して通信を行います。くわしくは『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。
- パソコンの電源を切るときは、ザウルスの電源を切るかザウルスからUSBケーブルを取り外してからパソコンの電源を切ってください。

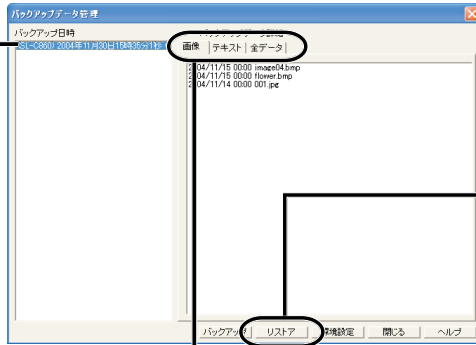
リストアする



- リストアすると、本体メモリーの内容はバックアップデータに置き換わりますので、ご注意ください。

- 1 3ページの手順1~4と同様にして「バックアップデータ管理」画面を表示します。
- 2 バックアップデータ管理画面で、リストアするバックアップデータ(年月日時分秒)をクリックして選択し、[リストア]をクリックします。

バックアップしたデータが、それぞれ、(機種名)年月日時分秒で表示されません。



[リストア]をクリックすると、リストアが始まります。

それぞれのタブをクリックすると、各バックアップデータに入っているファイルリストが表示されます。

画像タブは「Image_Files」フォルダ、テキストタブは「Text_Files」フォルダに入っているデータです。また、全データタブは、全データのリストです。

- 3 表示された画面で、[はい]をクリックすると、リストアの前にバックアップを行います。そして、バックアップ完了後、リストアを行います。[いいえ]をクリックすると、リストアを行います。

- 4 自動的にザウルスの完全消去(フォーマット)を行い、選択したバックアップデータがザウルスにリストアされます。

「リストア中」画面が表示されリストアされます。

リストアが終了すると「リストア中」画面が消えます。またザウルス側は日付/時刻設定画面の後、ホーム画面が表示されます(日付/時刻設定画面が表示されるまでザウルスを操作しないでください)。



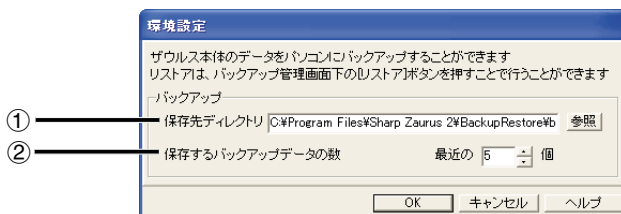
- バックアップデータ管理画面に表示されるバックアップデータについて、次ページのメモをご覧ください。



- バックアップしたデータをリストアするとき、他の機種にはリストアできません。たとえば、この製品のデータをバックアップして、そのデータをこの製品以外の機種にリストアすることはできません。

使いやすいように設定を変更する

- 1 バックアップデータ管理画面で、[環境設定]をクリックします。
「環境設定」画面が表示されます。



-
- ① **保存先ディレクトリ** バックアップデータの保存先ディレクトリを設定します。バックアップすると、設定したフォルダに日時の名前がついたフォルダが自動的に作成され、その中にバックアップデータが保存されます。
 - ② **保存するバックアップデータの数** バックアップを行ったときに、パソコンに保存するバックアップデータの数を設定します。
-

- 2 設定の変更を終えたら、[OK]をクリックします。



- バックアップデータ管理画面に表示されるバックアップデータは、環境設定画面の「保存先ディレクトリ」に入っているデータです。

環境設定画面で「保存先ディレクトリ」を変更してバックアップを行った後、変更前の保存先に入っているバックアップデータをリストアするときは、環境設定画面の「保存先ディレクトリ」を変更前のディレクトリにしてください。この操作を行わないと、バックアップ管理画面に、リストアしたいバックアップデータは表示されません。

SL-C700やSL-B500用のバックアップ／リストアを使っていた場合、この製品のバックアップ／リストアでは、保存先ディレクトリが違います。

以前、バックアップしていたSL-C700やSL-B500のデータをリストアするときは、保存先ディレクトリを変更してください。